学校番号	2101

令和８年度　学校設定教科

教科	自己実現のための日本語	科目	（学）母語継承語Ｂ	単位数	１単位	年次	全年次
使用教科書	使用しない						
副教材等	使用しない						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

外国にルーツがあり、自分のルーツの言葉・文化を学ぶための授業です。
クラスのレベルに合わせた内容にしますから、安心してください。
母語継承語を通して、論理的思考力や学習言語能力の向上をはかります。
予習復習があるときは、必ず取り組むようにしてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・学齢期相当の母語の資料などを読みうる言語力を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
・母語継承語を使って、論理的に物事を考えたり文章構成を考えたりすることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・母文化継承文化をたいせつにし、今生きている場所である日本も大切にする気持ちを育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・生涯にわたる社会生活に必要な母語・継承語の知識や語彙を身につけるとともに、母文化・継承文化に対する理解を深める。 ・母語・継承語を通じて、学習言語能力および日本語能力の向上の助力とする。	・母語・継承語を通して論理的思考を深めている。 ・母語継承語で自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・母語・継承語を通して他者とのかかわりの中で伝え合う力を高めようとしている。 ・母語母文化に対する認識を深め、日本で生きていく力の糧とし、自己肯定感が高まっている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前半	文化比較	・ルーツのある国の文化について学ぶ ・文化摩擦について考える ・ルーツのある国と日本の文化を比較し発表する	a:文化比較論についての知識を身につける b:文化摩擦を防ぐためにどのようなことができるか考え、解決策をまとめることができる c:文化摩擦を防ぐためにどのようなことができるか考え、解決策をまとめようとしている	・小テスト ・単元テスト ・発問	・発問 ・記述の点検	・発問 ・観察 ・感想文
	自分について語る	・母語継承語で自分の思国際問題についてまとめ、スピーチする	a:母語継承語で作文することができ、それを日本語に訳すことができる b:自分の考えをまとめ他者に伝えることができる c:自分の考えをまとめ他者に伝えようとしている	・小テスト ・単元テスト ・発問	・記述の点検 ・スピーチ	・スピーチ ・観察 ・感想文
後半	社会問題について考える	・母語継承語での時事問題について読み、深める ・母国と日本での問題に対する認識の差異について考える	a:現在世界で生じている時事問題についての知識を有する b:今世界で起きていることについて考え、母語や日本語を用いて他者に伝えることができる c:今世界で起きていることについて考え、母語や日本語を用いて他者に伝えようとしている	・小テスト ・単元テスト ・発問	・発問 ・記述の点検	・観察 ・感想文

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度